

POWERLIFTING

注目の日本選手

男子

西崎哲男
(乃村工業社)

男 83

大堂秀樓

が「要は箱がなく、伸びしろがある」と勘
 事を要する透視がバラデビュを助る。

244キロ。本書ではライバルのイノフとの名勝負数え回が期待される。

男子
107
超級

ハブロス・ママロス
(オーストリア)

男子10人組

▶ 見どころ **3** 力条

- 1 上半身の力だけで競うベンチプレス
- 2 海外では大人気のメジャースポーツ
- 3 世界最強、男子107kg 超級のシャモンド・レー・マングロの昨今未踏200kg なるか

[illegible][illegible]

POWERLIFTING

実地練習

男子は49・107kgを基準まで10kg減らし、50、54、59、65、72、80kg、97、107、127kgの7階級があり、女子は41・50kgを基準で10kg減らした41、45、50、55、61、67、73.75kgの7階級がある。

クラス分け

試合は試合相手の体格に合わせたクラスで、競技者が自ら希望するクラスで、競技者の体格と希望のクラスが一致している場合、その希望するクラスに属する。

ルール

下腹部から両手のパンチは禁止、パスバレーのクラスが分かれている。試合開始、試合再開の15秒から1分間まではパスバレーは禁止である。試合再開の15秒から1分間まではパスバレーは禁止である。試合再開の15秒から1分間まではパスバレーは禁止である。

展示写真

パラ パワーリフティングコーナー



名古屋のTOYOTAにパラ・パワー
リフティング公式ベンチが展示され
ました。



写真上は、スタンドアップサミット、三浦浩選手の務める東京ビッグサイト主催で、東北地方の学生を集めて、体験会の実施。ベンチプレスが学生通しの絆をつなぐ、一助に成ればありがたい。

写真右。スポルテックカップというボディビルのコンテストが東京ビッグサイトのフィットネス展示会で開催。そこに、パラ・パワーから中辻選手と、佐野選手が参加。

ボディビルダーの方々はパラ・パワーを見たことがなかったそうで、中辻選手や佐野選手の迫力が紹介できたことは素晴らしい。

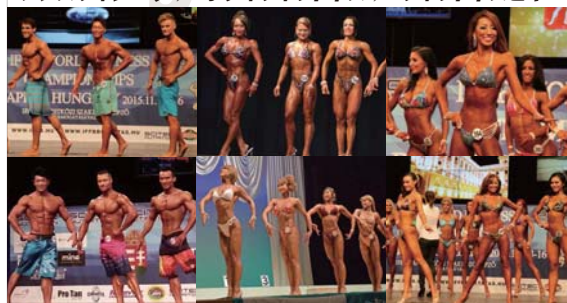
パラ・パワーの紹介の機会をくださる皆様に感謝

A2 (420×594) C

スポルテック
SPORTEC
CUP 2016

一 競技種目

メンズフィジーク / ボディフィットネス / フィットネスビキニ



ゲストポーター

バラ・パワーリフティング

大会進行



鈴木 龍 選手

・アーツワールド(メタモルフォーゼ)と日本選手権(2016年)
 ・IFBBプロボディビル選手権(2015年)・(2016年)
 ・日本ボディビル選手権最重級の最勝(2009年・2015年)

エキシビジョン参加

佐野 義貴 選手

72kg級 147kgの日本記録保持者
高校時代のトップクラスで実業団への就職先
決まったことで今度でバレーボール
選手生活が最後となる。身長194cm、体重147kg、背番号10のA1(東京)

[illegible]

□ リオパラリンピックに向けた行事

壮行会

8月2日、文部科学大臣や森東京都オリパラ組織委員会会長を迎えて、パラリンピックの壮行会が盛大に行われた。

各選手一同、身を引き締めて、リオパラに向かう決意を新たにしました。



大江戸線と山手線

8月24日より、東京都営地下鉄大江戸線の各駅で、パラリンピック種目が紹介される。パワーリフティングは、麻布十番駅で大堂選手をモデルに、パラ・パワーが紹介される。また、パラリンピック期間中に山手線では車両ごとに各競技種目が紹介され、パワーリフティングは、ボッチャ競技と一緒に車両全面で紹介される。東京在住の皆様、是非、ご覧ください。

ライブ中継

9/14 大堂選手が現地時間13日に競技をするのに合わせて、東京上野公園のステージに大画面を設置、NHK-B S 1より配信される男子88kg級、大堂選手の試合の様子が、中継される。この画面を見ながら、ロンドンパラリンピックに参加した、宇城選手と三浦選手が、解説。時間は、17時～17時55分。また、15時から、上野公園でパラ・パワーの体験会も開催しているので、お近くの方、ご参加ください。

また、9/10-11の両日は、立川の昭和の森でパラリンピックイベントが行われ、佐野選手、岡田選手によるデモンストレーションと、体験会を開催、近くの方、ご参加ください。

TAKE FREE

NO LIMITS SPECIAL 大江戸ステーションスタジアム 2016.8.25 ~ 9.21

TOKYO HEADLINE

Free news
is
good news
since 2002

This issue of TOKYO HEADLINE is published as collaboration with ichinomiya city, and HEADLINE INC. Publisher : Koji Ichiki Editor in chief : Hideto Motoyoshi
HEADLINE INC. : Barbizon3, 2-9-6 Sendagaya, Shibuya-ku, Tokyo, Japan 151-0051 TEL : 03-5770-7161 FAX : 03-5770-7163 URL : <http://www.tokyoheadline.com>

東京都パラリンピック体感展示

NO LIMITS SPECIAL
大江戸ステーションスタジアム

今年のパラリンピックは 大江戸線からはじまる。

